



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月23日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8014 URL http://www.chori.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀆 一夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営政策部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	134,542	14.3	2,526	△6.2	2,719	△2.7	1,829	△27.8
27年3月期第2四半期	117,750	△3.9	2,694	15.8	2,795	13.3	2,532	52.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,056百万円(△10.4%) 27年3月期第2四半期 2,294百万円(△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	74.61	—
27年3月期第2四半期	103.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	99,538	42,682	42.8
27年3月期	84,289	41,473	49.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 42,611百万円 27年3月期 41,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	24.8	6,300	13.5	6,800	14.0	4,400	5.9	179.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	25,303,478株	27年3月期	25,303,478株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	786,424株	27年3月期	785,918株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	24,517,267株	27年3月期2Q	24,518,964株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績に支えられ景気は緩やかな回復基調にあるものの、消費市場はインバウンド効果等一部を除き、全体的には個人消費は未だ力強さに欠ける状態が続いています。また、中国を中心とした新興国経済の減速が顕著となり、世界経済の下振れリスクが高まり、加えて米国利上げ観測も予断を許さず、先行き不透明さが急速に増してきました。

このような状況下、当社グループは、平成26年4月23日に発表した中期経営計画「躍進2016」の諸施策の推進を加速しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比14.3%増の1,345億42百万円となりました。営業利益は、前年同期比6.2%減の25億26百万円、経常利益は、前年同期比2.7%減の27億19百万円となりましたが、税金等調整前四半期純利益は、特別損益の改善により前年同期比16.0%増の27億64百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額の増加により前年同期比27.8%減の18億29百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

当セグメントにおきましては、海外を中心とした素材分野が堅調に推移し、売上高は前年同期比5.5%増の560億64百万円となり、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は前年同期比55.6%増の14億58百万円となりました。

② 化学品事業

当セグメントにおきましては、海外事業の拡大及びミヤコ化学株式会社を連結子会社としたことを中心に、売上高は前年同期比25.2%増の548億59百万円となり、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は前年同期比1.8%増の12億58百万円となりました。

③ 機械事業

当セグメントにおきましては、中南米向け車輛事業が堅調に推移し、売上高は前年同期比15.0%増の235億73百万円となりましたが、採算面は厳しく、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は前年同期比92.9%減の11百万円となりました。

④ その他

当セグメントにおきましては、売上高は前年同期比84.6%減の44百万円となり、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は前年同期比64.0%減の9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、995億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ152億49百万円増加しました。これはミヤコ化学株式会社を子会社化したこと等に伴い、主に受取手形及び売掛金が44億48百万円増加、のれんが41億37百万円増加、現金及び預金が39億8百万円増加、投資その他の資産が22億56百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、568億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ140億40百万円増加しました。これはミヤコ化学株式会社を子会社化したこと等に伴い、主に支払手形及び買掛金が102億59百万円増加、短期借入金が19億64百万円増加、未払法人税等が9億88百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、426億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億9百万円増加しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により18億29百万円増加、その他有価証券評価差額金が1億37百万円増加し、配当金の支払により8億33百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末比41百万円減の115億43百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は71億32百万円(前年同期は資金の増加23億30百万円)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益27億64百万円、売上債権の減少額81億45百万円、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額18億47百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は60億31百万円(前年同期は資金の減少12億84百万円)となりました。これは、主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出62億25百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は11億89百万円(前年同期は資金の減少9億64百万円)となりました。これは、主に新規連結子会社の旧株主に対する配当金の支払額30億48百万円、短期借入金の純増加額17億17百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済の先行きは、景気は回復基調であるものの、世界経済は不安定な状況にあり、依然として不透明であります。当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況であることが予想されますが、平成27年4月23日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、ミヤコ化学株式会社の発行済株式の全てを取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ62百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,732	11,640
関係会社預け金	4,000	1,000
受取手形及び売掛金	43,897	48,345
商品及び製品	11,191	13,146
仕掛品	119	62
原材料及び貯蔵品	28	11
未着商品	490	341
繰延税金資産	260	422
その他	4,290	4,449
貸倒引当金	△117	△103
流動資産合計	71,894	79,317
固定資産		
有形固定資産	1,325	2,724
無形固定資産		
のれん	518	4,655
その他	205	237
無形固定資産合計	723	4,893
投資その他の資産	10,346	12,602
固定資産合計	12,395	20,220
資産合計	84,289	99,538
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,165	43,424
短期借入金	986	2,950
未払法人税等	148	1,136
賞与引当金	610	626
返品調整引当金	2	2
関係会社整理損失引当金	408	327
その他	5,341	4,757
流動負債合計	40,664	53,225
固定負債		
社債	20	15
長期借入金	22	864
繰延税金負債	37	664
退職給付に係る負債	2,018	2,013
その他	52	72
固定負債合計	2,151	3,630
負債合計	42,815	56,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	30,759	31,742
自己株式	△782	△783
株主資本合計	38,477	39,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,428	1,565
繰延ヘッジ損益	△67	△80
為替換算調整勘定	1,624	1,719
退職給付に係る調整累計額	△58	△52
その他の包括利益累計額合計	2,926	3,152
非支配株主持分	70	71
純資産合計	41,473	42,682
負債純資産合計	84,289	99,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	117,750	134,542
売上原価	107,237	123,088
売上総利益	10,512	11,454
販売費及び一般管理費	7,818	8,927
営業利益	2,694	2,526
営業外収益		
受取利息	26	26
受取配当金	119	148
持分法による投資利益	37	90
負ののれん償却額	31	-
債務勘定整理益	70	60
雑収入	88	150
営業外収益合計	373	476
営業外費用		
支払利息	25	28
手形売却損	100	113
為替差損	36	65
雑支出	110	75
営業外費用合計	272	283
経常利益	2,795	2,719
特別利益		
関係会社株式売却益	-	48
固定資産売却益	2	1
負ののれん発生益	113	-
投資有価証券売却益	32	-
特別利益合計	148	49
特別損失		
固定資産処分損	20	3
投資有価証券評価損	-	2
関係会社整理損	398	-
東京本社移転費用	140	-
投資有価証券売却損	0	-
特別損失合計	559	5
税金等調整前四半期純利益	2,383	2,764
法人税、住民税及び事業税	810	986
法人税等調整額	△962	△53
法人税等合計	△152	932
四半期純利益	2,535	1,831
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,532	1,829

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,535	1,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151	137
繰延ヘッジ損益	7	△12
為替換算調整勘定	△338	104
退職給付に係る調整額	62	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△123	△9
その他の包括利益合計	△240	225
四半期包括利益	2,294	2,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,292	2,054
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,383	2,764
減価償却費	134	151
のれん償却額	80	308
負ののれん償却額	△31	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△88	△12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	155	△17
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	180	△80
受取利息及び受取配当金	△145	△175
支払利息	25	28
為替差損益(△は益)	△18	13
持分法による投資損益(△は益)	△37	△90
負ののれん発生益	△113	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△31	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	2
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△48
売上債権の増減額(△は増加)	1,263	8,145
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,364	△1,395
仕入債務の増減額(△は減少)	1,199	△1,847
未収消費税等の増減額(△は増加)	△357	76
その他の資産の増減額(△は増加)	△284	466
その他の負債の増減額(△は減少)	296	△1,297
その他	27	50
小計	3,273	7,042
利息及び配当金の受取額	177	174
利息の支払額	△25	△21
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,094	△63
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,330	7,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△244	△62
有形固定資産の売却による収入	6	1
無形固定資産の取得による支出	△86	△20
投資有価証券の取得による支出	△23	△12
投資有価証券の売却による収入	21	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△702	△6,225
出資金の売却による収入	165	-
関係会社出資金の払込による支出	△409	-
関係会社出資金の売却による収入	-	277
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	7	30
その他	△18	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,284	△6,031

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△129	1,717
長期借入れによる収入	-	1,000
長期借入金の返済による支出	△20	△15
社債の償還による支出	△5	△5
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△806	△830
新規連結子会社の旧株主に対する配当金の 支払額	-	△3,048
その他	△3	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△964	△1,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△0	△74
現金及び現金同等物の期首残高	9,638	11,584
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首 残高	-	34
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,637	11,543

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,154	43,801	20,507	117,463	286	117,750	—	117,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	203	203	△203	—
計	53,154	43,801	20,507	117,463	490	117,954	△203	117,750
セグメント利益	937	1,236	155	2,329	25	2,355	28	2,383

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・通信機器の取扱及び各種役務提供等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額28百万円は各報告セグメントで負担しているリスク等負担金の相殺額であります。

3. 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	56,064	54,859	23,573	134,497	44	134,542	—	134,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	202	202	△202	—
計	56,064	54,859	23,573	134,497	246	134,744	△202	134,542
セグメント利益	1,458	1,258	11	2,728	9	2,737	26	2,764

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額26百万円は各報告セグメントで負担しているリスク等負担金の相殺額であります。

3. 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、ミヤコ化学株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「化学品事業」のセグメント資産が15,794百万円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント利益の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間から、経営資源の配分の決定及び業績をよりの確に管理、把握することを目的に、各セグメントが保有しているリスク資産に対して社内計算上、所定の負担金を賦課することに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間に係る「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の方法により記載しております。